

フレスポ飛騨高山11周年祭の第一弾企画は、「夏祭り」をテーマに開催しました。昼間は外に出るのが危険な程、さんさんと照りつける太陽。来場者数も伸び悩みましたが、夕方からは涼しい風が吹き、多くの人に来ていただくことができました。コミュニティカフェ「81 cafe」が4周年を記念して、81 cafeで扱う野菜・器・ドリンクの仕入先である全国各地の美味しいモノが集結。その他、地元飲食の出店や、音楽ライブ、浴衣の着付け、夜には手持ち花火コーナーなど昼夜楽しめる企画をみんなでつくりました。運営には、まちスポのサポーターや利用団体にも協力してもらい、横の繋がりがづくりの場になり、今後の活動の展望を語り合っている姿が印象的でした。



開催日: 2023年8月11日(金・祝) 10:00~21:00
場所: まちスポ飛騨高山屋外スペース、81 cafe
来場者: 1,002名
企画: 認定NPO法人まちづくりスポット
協力: マウンテンサイド



まちスポとやま ハッシュタグ&フォローキャンペーン 好評開催中

総曲輪レガートスクエア・ギャザリングスペース

総曲輪レガートスクエアの屋上庭園「ギャザリングスペース」は販売もできて平日1棟2,000円から利用できるレンタルスペースです。友人同士のホームパーティーや色んな講座・レッスン、販売会などで使われています。この夏、ギャザリングスペースはハッシュタグ&フォローキャンペーンを実施中!

当日ご利用中の様子の写真を撮影し、3つのハッシュタグ[#ギャザリングスペース#まちスポとやま#総曲輪レガートスクエア]をつけて投稿か、まちスポとやま公式アカウントのフォローをしていただくと、利用日の駐車場5台分(昼間分3,500円相当)が無料になるお得なキャンペーン

です。※1
9月30日までなら何度でも利用可能です。お得なこの機会にたくさん利用してみませんか?

※1 利用駐車場は総曲輪レガートスクエアDパーキングに限ります



水分補給で酷暑を乗り切りましょう! カスティーロ



蝉の脱皮の瞬間を目撃!! 五十嵐



久しぶりの雨の後花壇がイキイキ。待ってたんだね 板屋

8月のホームページ更新
http://machispo.org

さるぼぼコインクレジットでの賛助会員が可能になりました!
詳しくはこちらをご覧ください! http://machispo.org/donation

●2023年9月まちスポ飛騨高山 イベント情報 http://machispo.org/202309event/
●視察・研修代改定のお知らせ http://machispo.org/sukima19report/
note https://note.com/20121101/
ひだっち blog https://www.hida-ch.com
まちスポとやま https://www.machispo-toyama.org

活動を応援して下さる方を募集しています。
納入先
個人年会費 1口 ¥3,000
法人年会費 1口 ¥5,000
郵便振替 00840-9-183216 特定非営利活動法人まちづくりスポット
飛騨信用組合 松泰寺支店(普) 0793442 特定非営利活動法人まちづくりスポット
高山信用金庫 駅西支店(普) 0166788 特定非営利活動法人まちづくりスポット



まちスポ飛騨高山

企業防災

出張日本語教室 & 防災教育 飛騨地域で暮らす外国人のために

この事業は、飛騨地域で暮らす外国人のために日本語教師による日本語講座と、有事の際に身を守れるように防災士による防災教室を合わせた教室を事業所に出向き行っております。

初回は、スーパーセンターシマヤ・ラクール飛騨高山店の協力のもと1年前から技能実習生として働くベトナム人2名が受講してくれました。日本語教師から災害についての日本語を学び、その後で高山市民防災研究会の防災士から災害時の行動について教えていただき、ハザードマップで自宅に近い避難所を確認しました。

参加してくれた2人からは、「とても楽しく勉強できた」「災害が起きる前に知ることができてよかった」との感想がありました。



日時: 2023年8月8日(火)
協力企業: スーパーセンターシマヤ・ラクール飛騨高山店
受講者: 2名
主催: 認定NPO法人まちづくりスポット

協力企業を募集しております。詳しくは、まちスポにお問い合わせください。

多文化共生交流会 まちスポ with ippo to the world

飛騨に住んでいる外国人同士で日本での生活について話そうと交流会を開催しました。ベトナム、コロンビア、アメリカ、ミャンマー、シンガポール、ネパール、カンボジア、南アフリカ共和国、インドネシアの計9か国から50名の参加がありました。グループに分かれて「日本のどんなところが好き? 困っていることはある? それに対してどう工夫している?」のテーマに沿って付箋に書いて模造紙に貼って発表する形式のワークショップを行いました。

「ゴミの分別が難しい」「冬の時期は自転車に乗れないので移動に困る」など意見を出し合い、共感したり自分の工夫を話したり有意義な時間になりました。参加された方からは「こんなに外国人が飛騨にいるなんて知らなかった。交流できて嬉しい」との感想をいただきました。



ゴミの分別がむずかしい...

冬は自転車に乗れないので困る...

日時: 2023年8月27日(日) 10:00~12:00
参加者: 50名
共催: 飛騨高山国際協会/多文化共生交流会 ippo to the world / 認定NPO法人まちづくりスポット

飛び出せ★元気市民
富山



NPO法人
富山国際学院
理事長

みやた たえこ
宮田 妙子さん

地球規模で考え、足元から行動せよ
Think Globally, Act Locally

北陸で初めての日本語学校である富山国際学院の理事長を務め、富山県を拠点としてダイバーシティを推進する民間団体「NGOダイバーシティとやま」の代表も務める宮田さんにお話を伺いました。

日本語教師を目指したきっかけ

高校時代、発展途上国のアフリカの子どもの様子を knowing、青年海外協力隊員になりたいという思いを持った宮田さん。大学時代は国語の教員免許を取得したものの、協力隊員の夢をあきらめきれず、東京の日本語教師養成校で学び日本語教師になりました。教師経験を積んでから協力隊員として海外へ行こうと考えていたそうです。しかし、日本にきている留学生がいじめや差別を受けていたり、行政サービスの手続きや漢字に苦労する等、多くの問題を抱えていることを実感し、まずは目の前にいる彼らと向き合おうと決意しました。

富山国際学院開校30周年大切にしている思い

1993年に北陸初の日本語学校として、富山国際学院が開校。設立メンバーの一人が宮田さんです。しかし開校して3年で閉鎖の危機がありました。当時日本では、外国人の不法滞在が問題となり、学校の大半を占めていた中国人学生のビザが出なくなり、日本の日本語学校の4割がなくなりました。富山国際学院も学生に閉鎖を通告せざるを得ませんでした。「でも、このまま彼らを帰したら日本という国を一生恨むことになってしまう。」と思ったそうです。宮田さん含む残った教師たちは手弁当で授業を続けました。

小さな卒業式で1人の学生がしてくれた言葉を今も宮田さんは大切にしています。「先生方はろうそくでした。先生方が大変なのに溶けてなくなりそうになっても私

たちに光を与えてくれた。私は、先生と富山が好きです。大学に行ってもこの学校は私の故郷です。」富山国際学院は教師たちの熱い思いと沢山の学生たちによって今年30周年を迎えることができました。

NGOダイバーシティとやま活動のきっかけと目指す社会

富山国際学院の活動を続ける中、宮田さんはNGOダイバーシティとやまの代表も務めています。ダイバーシティとは、性、年齢、国籍など多様な「ちがいを」活かして一人ひとりが活躍できる社会を目指すこと。この活動を行うきっかけとなったのは、ご自身の次男が発達障がいであったことでした。ご自身の子どもも含む子ども達の夢を実現できる社会を夢みて、2011年に富山で開催された「ドリームプラン・プレゼンテーション」でその「夢」を語ったそうです。その際に応援メッセージを400枚もらって勇気づけられたことから活動が始まりました。悩みや自信を無くしている子どもたちに元気や笑顔を取り戻したいという思いが宮田さんの原動力です。留学生からは学びや喜び、愛情を多くもらい、日本からでも多くの海外を知ることができる幸せを宮田さんは感じています。

「Think Globally, Act Locally(地球規模で考え、足元から行動せよ)。この言葉は、日本語や日本の歴史、文化、社会、進学や生活などのサポートを行う日本語教師が実感できる言葉だと思う。」と宮田さんは優しい眼差しで語ってくれました。

(まちスポとやま・インターン生 高瀬胡羽)

【富山国際学院 交流授業参加者・寄付募集中】

富山国際学院では留学生との交流授業に参加して下さる方を随時募集しています。また、留学生はギリギリの生活をしている学生がほとんどなので、お米や野菜の寄付も大歓迎です。

▶お問い合わせは富山国際学院 (TEL.076-441-9360) まで



▲富山国際学院 HP

●ダイバーシティとやまのお問い合わせ先はこちら



▲ダイバーシティとやま HP

まちスポ飛騨高山

移住者交流会&ライター勉強会

移住して20年越えのベテランさんから、まだ3か月目という方まで様々な移住歴を持った方々と休日の過ごし方をテーマに移住者交流会を開催しました。「休みの日何してる?」とお話しながら付箋紙に書いて模造紙に貼っていく形式のワークショップでは、皆さんの行きつけのお店や、おすすめの過ごし方を紹介し合いました。

今回はグッとくる飛騨のホームページで暮らしの情報発信をしている「未来の地域編集部」のライター勉強会も兼ねての開催でした。移住や交流会で出た話題を基に、参加したライター3名が記事にしてお届けします。これから移住を検討される方にも、すでに移住されている方にとっても新しい飛騨の魅力がぎゅっと詰まった記事が出来上がる予定ですので楽しみに。



日時: 2023年8月20日(日)
19:00~21:00
会場: 松倉山荘
参加者: 12名
主催: 認定NPO法人まちづくりスポット

グッとくる飛騨
ホームページは
こちらから▶



まちスポ飛騨高山

災害農業ボランティア研修会



飛騨地域農業ボランティアセンター運営に向けて

災害時の農業再生復興のため平時に出来ることを学ぼうと、飛騨地域の3市1村(飛騨市・高山市・下呂市・白川村)の農務・福祉の各担当課、飛騨農業協同組合、県農林事務所、社会福祉協議会の皆さんが参加されました。

第1部では、高山市社協の中川氏・志水氏より過去に立ち上げた災害ボランティアセンターの活動報告から有事の災害ボランティアセンターの役割を学びました。

第2部では、岐阜県災害ボランティアコーディネーターの五十嵐より、農業ボランティアセンター設置訓練をワークショップ形式で行いました。

参加された方からは、「より具体的で、詳しい話を聞くことができ、いつか来る災害へ備えなければと意識が高まった」と感想をいただきました。

日時: 2023年8月24日(木)
13:30~16:00
会場: 飛騨総合庁舎 中会議室
参加者: 26名
主催: 飛騨地域農業再生協議会



まちスポとやま

多世代交流講座

まちなかサロンの夏休み

総曲輪レガートスクエア官民連携事業

まちなかサロンの登録団体が講師となって、夏休み中の小学生親子向けに開催している体験企画を開催しました。7月の「楽しくてためになるおかねかるた体験」では、かるたで遊びながら「図書館の本はどうして無料で読めるの?」

「リポ払って?」などお金にまつわる知識を学ぶことができました。また、来年変わるお札の話では、新デザインのお札100万円(メモ帳)が登場するとそれぞれ手にとって絵や重さ確かめていました。8月の「自分のズックを自分で洗おう」では、学校から持ち



帰る内ばきズックの上手な洗い方を伝授。その他、洋服や靴下のしまいやすくて選びやすいたたみ方などもレッスン。参加した児童は「自分でうまくたたむことができた」と満足そうに話していました。



企画名: ①楽しくてためになるおかねかるた体験
②自分のズックを自分で洗おう
開催日: ①7月27日(木) ②8月8日(火)各10:00~12:00
参加者: ①5組11名 ②3組8名
協力団体: ①初心者向けマナーレッスン ②富山友の会